

2013年度(平成25年度)

公立図書館における危機管理(震災対策等)  
に関する報告書

平成26年3月

全国公共図書館協議会



## はじめに

全国公共図書館協議会では、平成 24 年度・25 年度の 2 カ年計画で、公立図書館における危機管理（震災対策等）に関する調査研究に取り組んでまいりました。

平成 23 年 3 月の東日本大震災以降、各方面で危機管理の必要性、重要性があらためて言及されており、一部の公立図書館においては危機管理マニュアルの作成や改訂、防災訓練の実施など、防災対策の見直しが検討されるようになりました。

平成 25 年 12 月に、政府の地震調査研究推進本部は「2013 年から 30 年間に震度 6 弱以上の揺れに見舞われる確率」を示した全国地震動予測地図の改良版を公表しています。この予測地図によると、全国のどの地域でも地震によって強い揺れに見舞われる可能性があることが分かります。

こうした予測があるなかで、地震による被害を少しでも軽減するために、危機管理に関するマニュアル等の作成や危機管理に関する訓練の定期的な実施など、図書館の危機管理の充実がますます必要とされてきています。

全国公共図書館協議会では、そうした状況を背景に、全国の公立図書館における危機管理の現状を明らかにするために、調査・研究事業を進めてまいりました。

平成 25 年度は、平成 24 年度に実施した「公立図書館における危機管理（震災対策等）に関する実態調査」の主な項目について分析しています。この報告書の第 1 章で分析結果についてまとめ、第 2 章では、全国の都府県立図書館 6 館の事例を紹介しています。第 3 章で、実態調査によって明らかになった問題点等の整理を行い、提言をまとめています。

本報告書が、公立図書館における震災対策に関する危機管理をますます充実させるための資料としてご活用いただければ幸いです。

なお、この報告書は中沢孝之氏（草津町立図書館）の助言のもと、編集委員会において協議を重ね、分担執筆いたしました。

中沢孝之氏をはじめ、追加調査に御協力くださった各館の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成 26 年 3 月

全国公共図書館協議会

全国調整委員会



# 目 次

<b>第1章</b>	公立図書館における危機管理(震災対策等)に関する調査分析	1
1	発災時と発災後の対応に関する調査分析	3
2	危機管理の要 - 平常時の備え -	9
3	相互協力、支援体制	19
<b>第2章</b>	公立図書館における危機管理(震災対策等)に関する事例	31
1	震災の経験を「これから」に生かすために(宮城県図書館)	33
2	秋田県立図書館における災害等発生時の対応マニュアルの策定について	37
3	岩手県公共・大学・専門図書館間の相互応援について	39
4	東京都立図書館資料防災マニュアルについて	42
5	大阪府立中央図書館「危機安全管理基本マニュアル(平成23年11月)」 について	47
6	兵庫県立図書館における震災関連資料の収集・活用等について	52
<b>第3章</b>	まとめと提言	57
1	震災を経験して	59
2	マニュアルの作成と活用	61
3	事業継続計画	63
4	防災訓練の実施	63
5	相互協力・支援	64
6	おわりに	65
	全国調整委員会委員・編集委員名簿	67

